

# さくら新聞

発行者：NPO法人  
下関深坂さくら友の会  
下関市安岡町1-8-3  
TEL:083-258-0143  
FAX:083-258-5910  
http://yasuokac.sakura.ne.jp/sakura  
Eメール: misaka.sakura@arrow.ocn.ne.jp

残暑お見舞い申し上げます。

豪雨、水害の後は、猛暑、酷暑で

息つく暇なく鍛えられますね。みな

さま、いかがお過ごしでしょう。

ムシアツサニモマケズ



と「峠の駐車場道路下側斜面」の二手に分かれて、下草刈り、枝打ち、斜面の整理などを実施。作業参加人数…十五人（報告 坂井）

アメニモマケズ・



六月十日天候…晴れ、作業概要…「森林組合」方面



六月二四日 天候…雨、作業概要…「しだれ桜」～「展望台」間の道路下側斜面の下草刈り、枝打ち、斜面の整理などを実施。作業参加人数…十人夜半過ぎから大雨のため作業中止かと思ったものの、朝七時頃には比較的小雨模様と

なったことから、もしやと思いついてみると、十人もの人が当たり前のように集まって、作業開始。時々バサバサと大粒の水音が頭上から降るものの、午前中は小雨模様のまま大きく崩れる事無く経過、通常より少し早めの十一時に無事作業を終了して撤収。報告（坂井）

定期総会（五月十三日）

青空総会

青空総会と言うべきところ



が曇天総会となった。出席者三十七名。正会員一八二名の五分の一を越えて成立。事業報告及び計画、会計報告及び予算、定款の改正。理事の選出をして終了。

総会に続くこの日の作業は草刈の他、倒木の引き起こし。突風で、倒れた桜を引起こしました。鳥居を作るために、杭を打ち込むのがきつい仕事。大きい樹はロープをかけて数名で引き起こします。

## 事務局だより（3） 新役員名簿（任期：2年）

富征男	理事長	(重任)
上島政利	副理事長、会員交流部会長	(〃)
西川浩子	専務理事	(〃)
浅野史也	理 事	(〃)
和泉昭夫	〃	(〃)
江原寛治	〃 維持管理部会長	(〃)
城戸富美子	〃	(新任)
常岡梅男	〃	(重任)
道坂 優	〃	(〃)
野口周三	〃 広報部長	(〃)
平野 正	〃	(〃)
福田幸博	〃	(〃)
松岡康成	〃	(新任)
西岡信夫	監 事	(重任)
山田一之	〃	(〃)
以上、理事 13 名、監事 2 名		

**新理事の紹介**  
今年度からの理事は左の名簿の通りです。新しい顔ぶれが二人入りました。城戸富美子さんと、松岡康成さん。

竹のつかい棒は今までにないつかい棒です。昼は久しぶりに美味しいカレーを頂いた。



松岡康成さんは、電気エンジニア



城戸さんは亡くなられた理事城戸哲郎氏の夫人。住まいは友の会事務所の近くで、西川専務理事を補佐しながら専務のアッシー役でもある。

## 桜四方山

本号の紙面トップを飾る記事として、「深坂さくらえ」、「さくら友の会定期総会」、「さくら研修旅行など」が頭に浮かんだが、敢えて地味な日常の活動を選んだ。これが最も重要であり、さくら友の会の原点だからだ。これが充実していなければ、健全な会の発展が望めない。幸い定例会、維持管理会などの作業活動に、多くの方々が喜んで参加されている。天候が厳しければ厳しいほど、反ってファイトが湧くかもしれない。競い合うようにわれ等の深坂の森を守るために集う。初めはオーナー桜の苗木を守ろうとする小さな活動から始まったが、いつの間にか深坂の森全体に対する愛情へと変えられてきたような気がする。日常の生活の中では、人間関係、競争、金銭の不安に駆られて心身ともに疲れている人間にとって、森林浴とは決してマインスイオンだけのことではない。自然そのものが与えてくれる肉体と精神への安らぎを意味しているのではないだろうか。深坂の森で働けることは大きな喜びであり、充実した一時である。